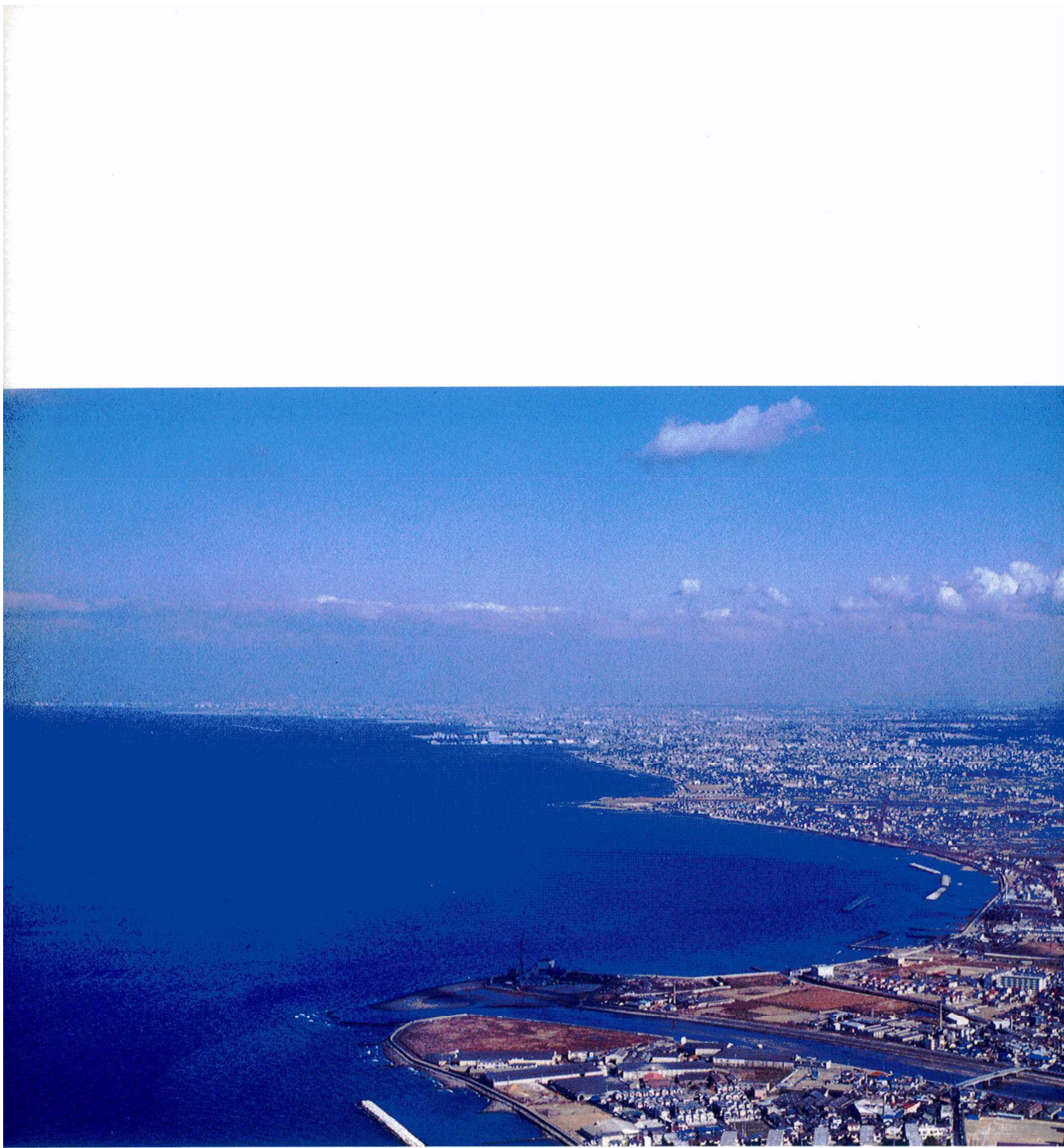
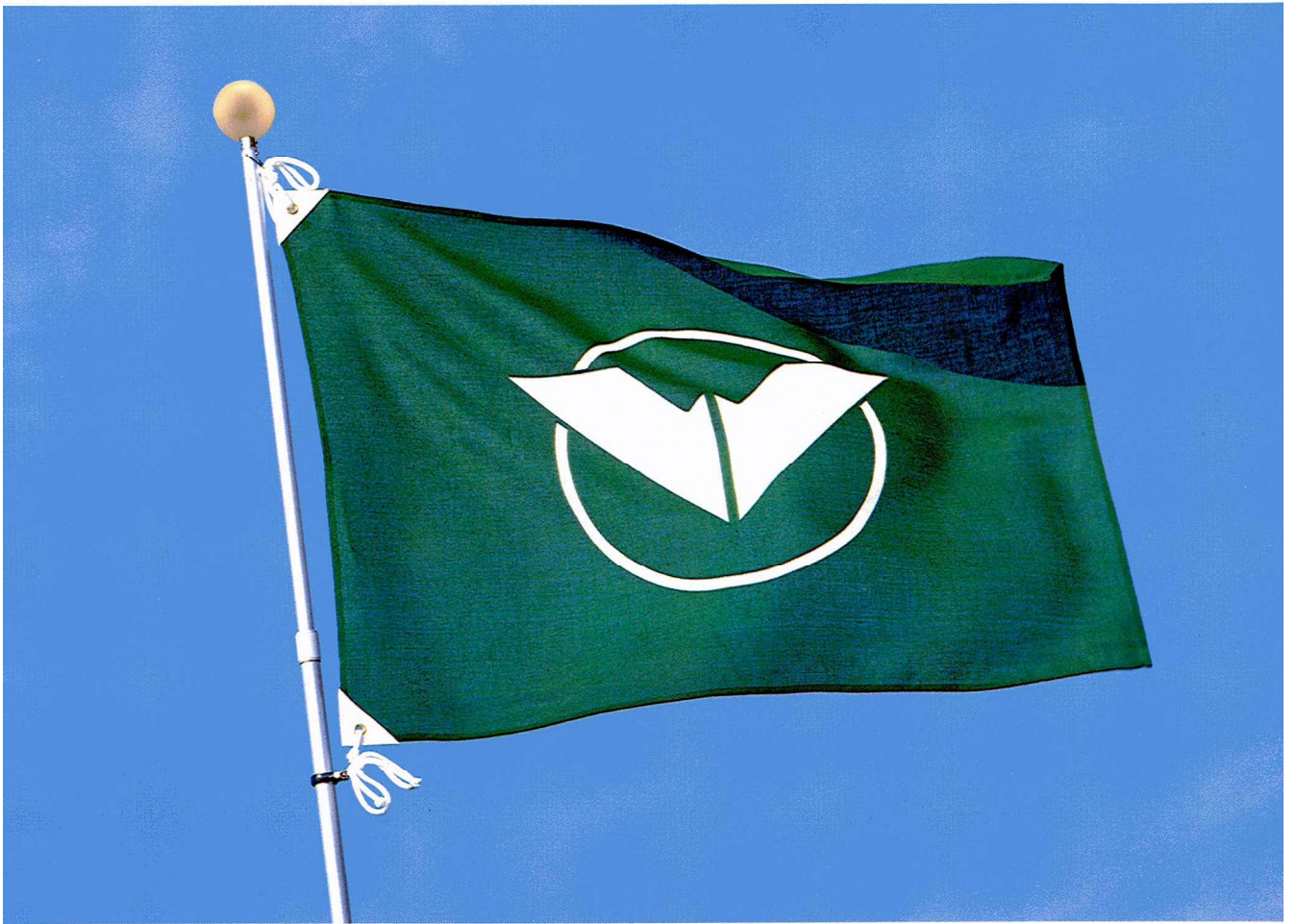


南海電氣鐵道百年史





泉南海岸







## ごあいさつ

南海電気鉄道株式会社は、本年、昭和六十年、創業百周年という記念すべき年を迎えました。

当社の前身である阪堺鉄道が、難波・大和川間において、鉄道事業を開始いたしましたのが、今から百年前の一八八五年（明治十八年）十二月二十七日でありまして、民間資本による鉄道としては、わが国でもっとも長い歴史をあゆんでまいりました。

顧みれば創業以来、数かずの紆余曲折を経ながら、南大阪・紀泉地域の交通動脈として、いささか社会的役割を果たしてまいりました。そして今日、交通運輸・開発・不動産・流通・レジャー等、多彩な事業分野にわたって、豊かな市民生活に貢献する総合企業として、今日の姿に発展することができたのであります。

これは、ひとえに、創業者をはじめとして、諸先輩のご努力の賜物であり、また、永年にわたる地域住民の方がたをはじめ、関係各位のご指導、ご支援によるものと、深く謝意を表する次第であります。

このたび創業百周年を記念して、社史「南海電気鉄道百年史」を上梓いたしました。本史の記述にもあるとおり、企業百年のあゆみは、必ずしも坦々たる大道ばかりではなかったのであります。

しかしながら、社会・経済が変革期、転換期を迎えている現下の情勢下にあつて、われわれは、いたずらに過去の追憶にのみ浸



っているわけにはまいりません。時代は日一日と進みつつあるの  
であります。過去の歴史的な実績を謙虚に振り返りながら、創業  
百年という記念すべき節目を起点とし、「南海二世紀」に向かって、  
さらに飛躍向上をめざすために、たくましく「創造と前進」のあ  
ゆみをつづけてまいりたいと決意しております。

折しも昭和六十年代は、南大阪浮上の期待を担う関西国際空港  
着工の年であります。当社沿線に位置する泉州沖に、わが国を代  
表する開かれた二四時間空港が建設されることにより、南大阪は  
大きな変革のときを迎えることとなりました。

北高南低といわれて久しい南大阪・紀泉地域の発展のために、  
南海電鉄グループはその総力を結集して、積極的に新しい事業展  
開を図ってまいる所存であります。

本社は、来るべき二一世紀を明確に視界にとらえ、さらに飛  
躍をめざす当社の決意のあらわれでもあります。

ご覧いただき、なお一層のご理解、ご指導を賜りますよう、  
お願い申しあげる次第であります。

昭和六十年五月十日

取締役会長  
取締役社長

中 勝 博



役員

取締役  
橋本 茂

取締役  
若竹義勝

常務取締役  
芝谷 昭

常務取締役  
岡本和夫

取締役  
高岡茂夫

専務取締役  
杉澤伸也

監査役  
北尻得五郎

監査役  
山東永夫

取締役副社長  
嶋村信男

取締役社長  
加藤吉郎

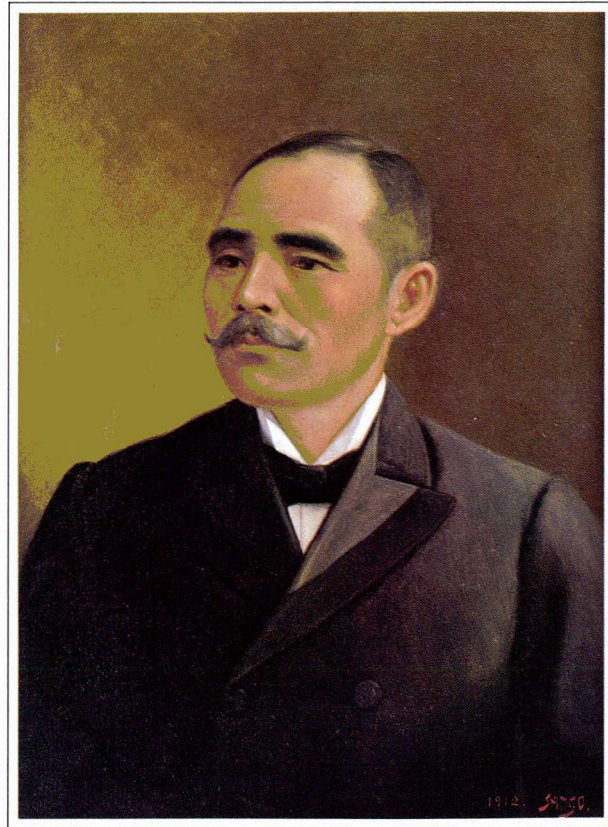


(昭和59年12月14日撮影)

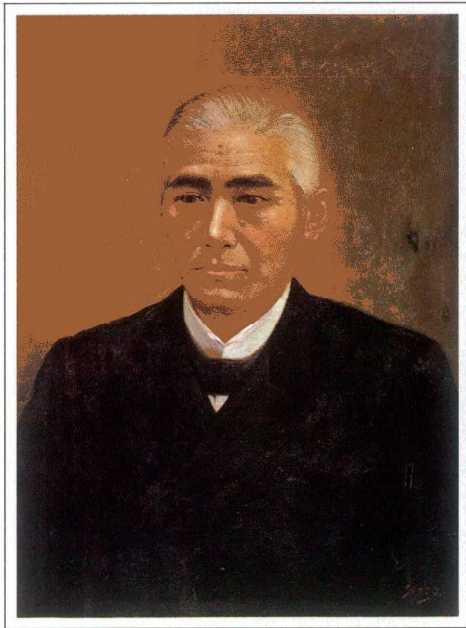
道本隆美	取締役	村井照夫	常務取締役	川勝泰司	常務取締役	村尾博	常務取締役	横山裕隆	常任監査役	甲村甫	専務取締役
牧野耕二	取締役	浅井孝二	取締役	上枝一雄	取締役	吉村茂夫	取締役副社長	川勝傳	取締役会長		



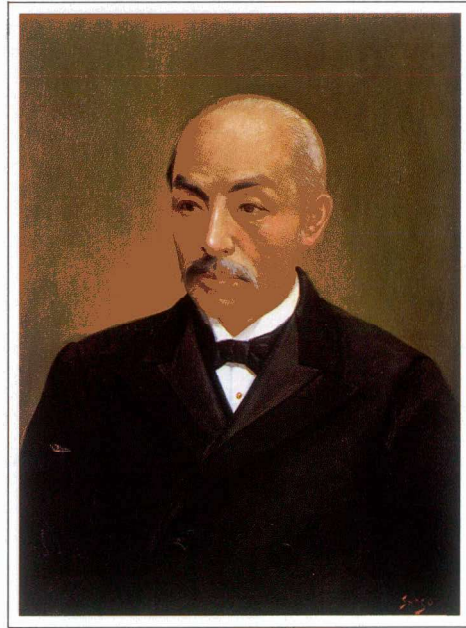
創設者  
藤田傳三郎



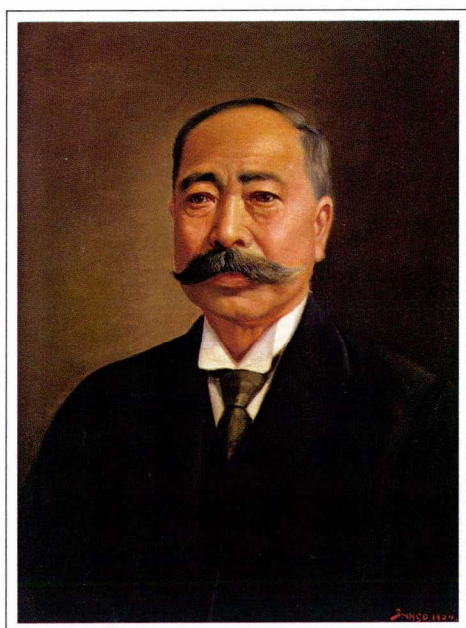
初代社長  
松本重太郎



第三代社長  
田中市兵衛



第二代社長  
鳥井駒吉



第五代社長  
片岡直輝



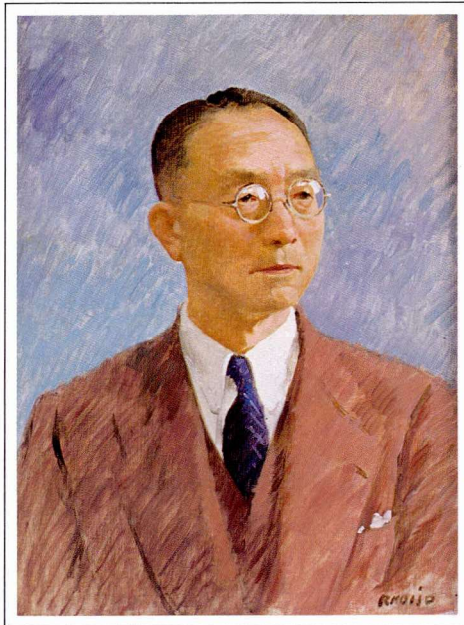
第四代社長  
大塚惟明



第八代社長  
岡田 意一



第七代社長  
渡邊千代三郎



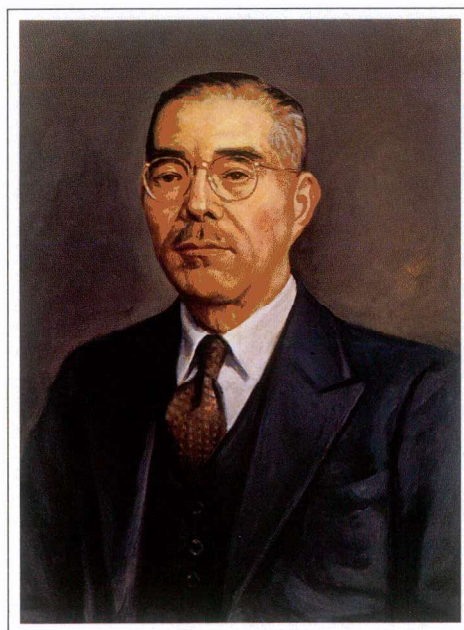
第十代社長  
吉村  
茂



第九代社長  
寺田  
甚吉



第十二代社長  
壺田  
修



第十一代社長  
小原  
英一



第十三代社長  
稲次國利

背文字ならびに扉文字——会長 川勝 傳